

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プライマル・ショック	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：PRIMAL SHOCK

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

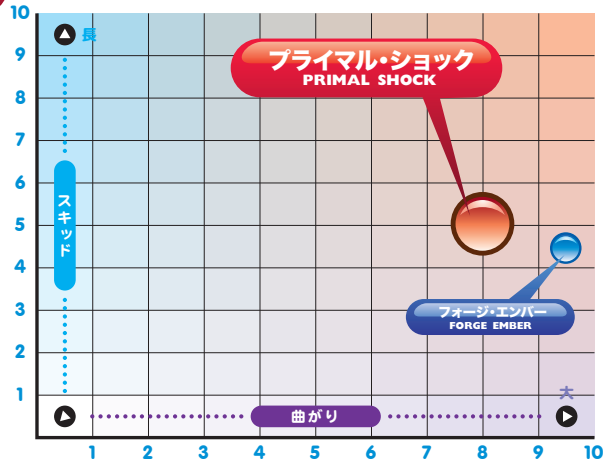
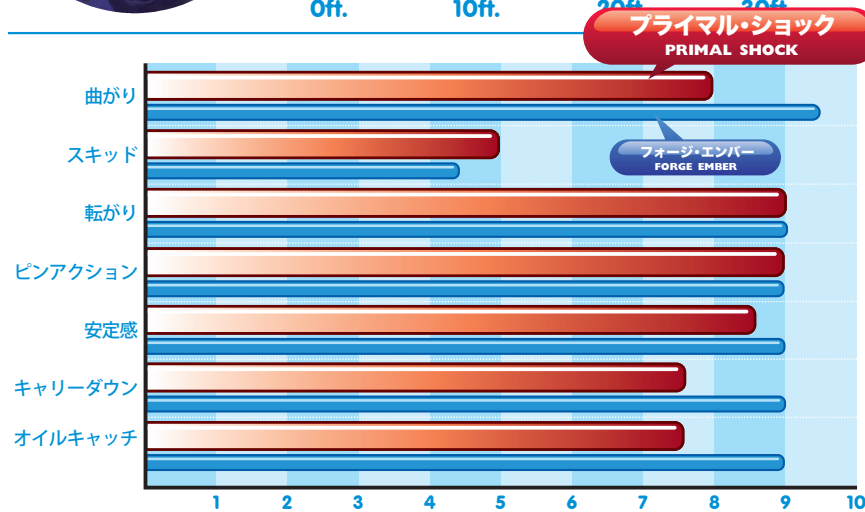
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：FORGE EMBER

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

MOTIV社の歴史上、最も人気のあるクロスオーバーはPRIMAL RAGEとVENOM SHOCKの組み合わせとされています。VENOM SHOCKは米国で現在も生産され続けられており、その人気ぶりは今なお健在と言えます。PRIMAL RAGEは日本においてMOTIV社が一気に脚光を浴びた立役者であり、センセーショナルなバックエンドリアクションはその当時の多くのボウラーを魅了しました。この魅力のある2つのボールの良い部分を掛け合わせ、相乗効果を得たのが今回のPRIMAL SHOCKです。PRIMAL SHOCKのTurmoil MFSテクノロジーはVENOM SHOCKと同じで、MOTIV社のベンチマークであり、コントロールとアグレッシブさを高いレベルで調合できているカバーストックで、ミディアムを中心に最適なトラクションを得ることができます。配色もVENOM SHOCKと同じなので、一目でVENOM SHOCKのDNAを受け継ぐボールと想像が付きまします。その実績あるTurmoil MFSカバーストックとPRIMAL RAGEのImpulse V2コアが組み合わさることで、ミッドレーンのトラクションとダウンレーンの十分な角度を生み出せるようになっています。この二つのクロスオーバーは、ただ人気のある組み合わせだけでなく実績もあり、米国インディアナポリスで開催された「2023 US OPEN」でMOTIV契約のEJタケットが壮絶な戦いを制して優勝。3つ目のメジャータイトルを奪取しPBAツアー三冠(Triple Crown)達成者9人に名を連ねました。その彼のバッグに、PRIMAL SHOCKが入っていたことで勝ち抜けたという報告もきています。Turmoil MFSカバーストックはSolidベースの中でMidのトラクションとドライエリアの反応が良くでる素材の一つです。PRIMAL RAGEのImpulse V2コアの先の動きが出る特性にMidのトラクションが加わることで、VENOMのイメージの曲がり始めとPRIMAL RAGEの曲がり終わり双方を感じられる逸品に仕上がっています。

特記事項

VENOM SHOCKのカバーにPRIMAL RAGEのコアという、MOTIV本気の反則級の組み合わせで、Midの安定感とRAGEの先の動き、良いところを組み合わせた夢のような仕上がりです。